

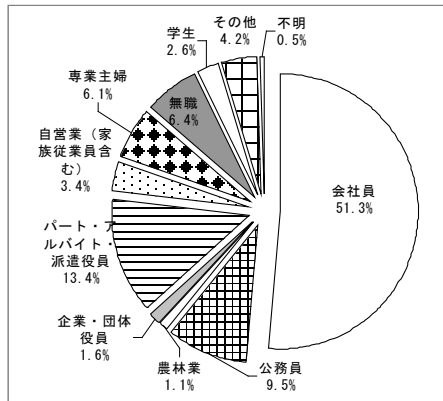
2010年県民意識調査の概要 <速報値>

① 2010年県民意識調査フェース区分結果

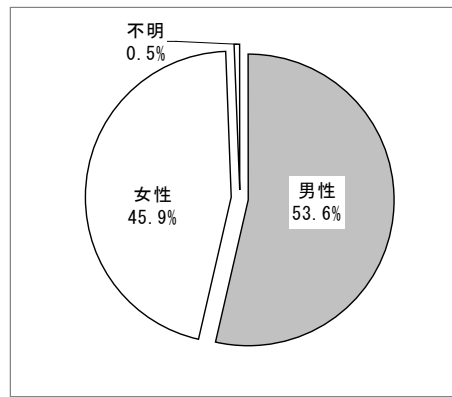
◎ 集計数； 11,770名（組織内5,162名、組織外6,608名）

◎ 回収率； 100%（組織内103% 組織外98%）

【職業区分】

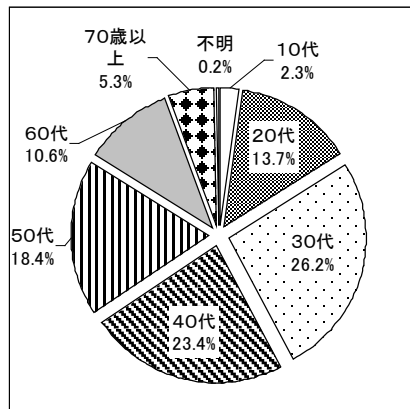


【男女比率】

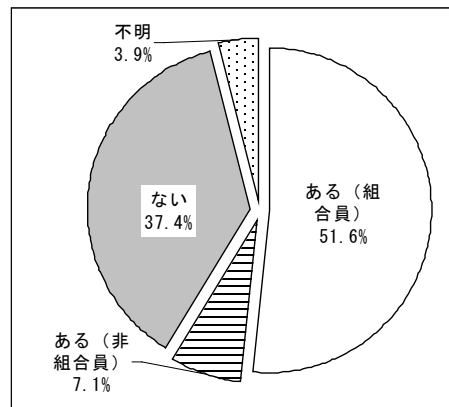


09年調査との比較では、職業別は、会社員・公務員が若干減り、専業主婦やパート等が少し増加した。男女比率については、昨年とほぼ同率であり、バランス良い結果となる。

【年齢区分】



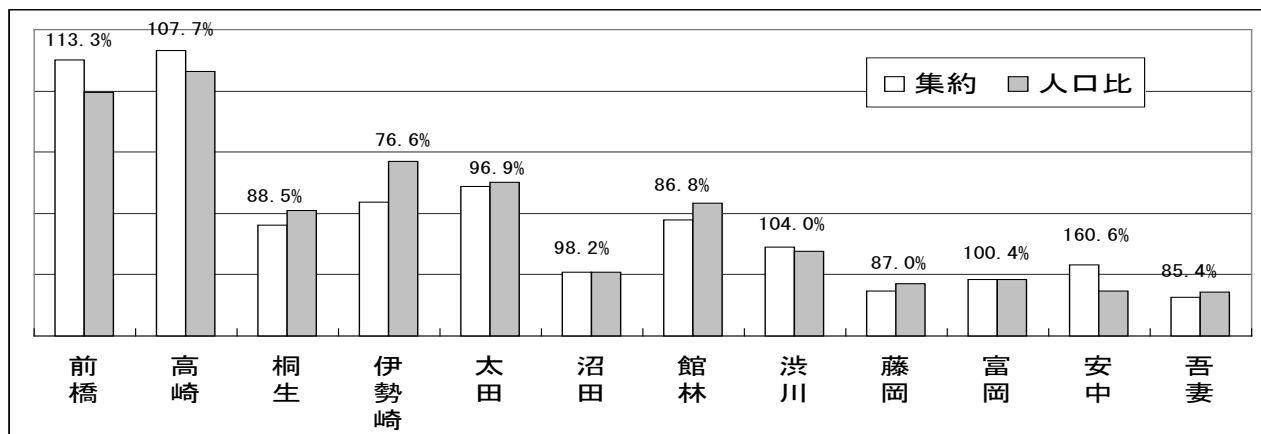
【労働組合有無】



年齢区分については、昨年とほぼ同率である。労働組合有無では、「ある」(51.6%)が昨年より7.6ポイント低下し、「ない」(37.4%)の方が高くなった。

【地域集約数】

人口比で見ると、全ての地域からバランス良く集約することができた。しかし、地域では伊勢崎が若干少なく、安中が多くなった。

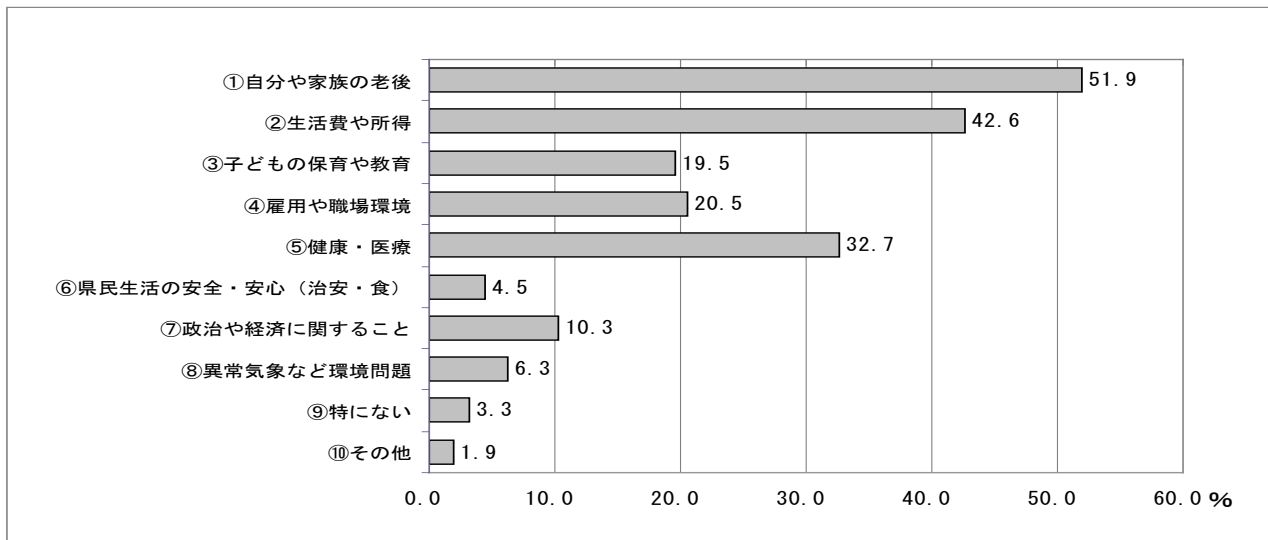


心配事・困り事・関心事について

1. 心配事・困り事、関心事は何ですか。【2つ選択】

■全体傾向

「①自分や家族の老後」(51.9%)の値が最も高く、これに「②生活費や所得」(42.6%)、「健康・医療」(32.7%)が続く。

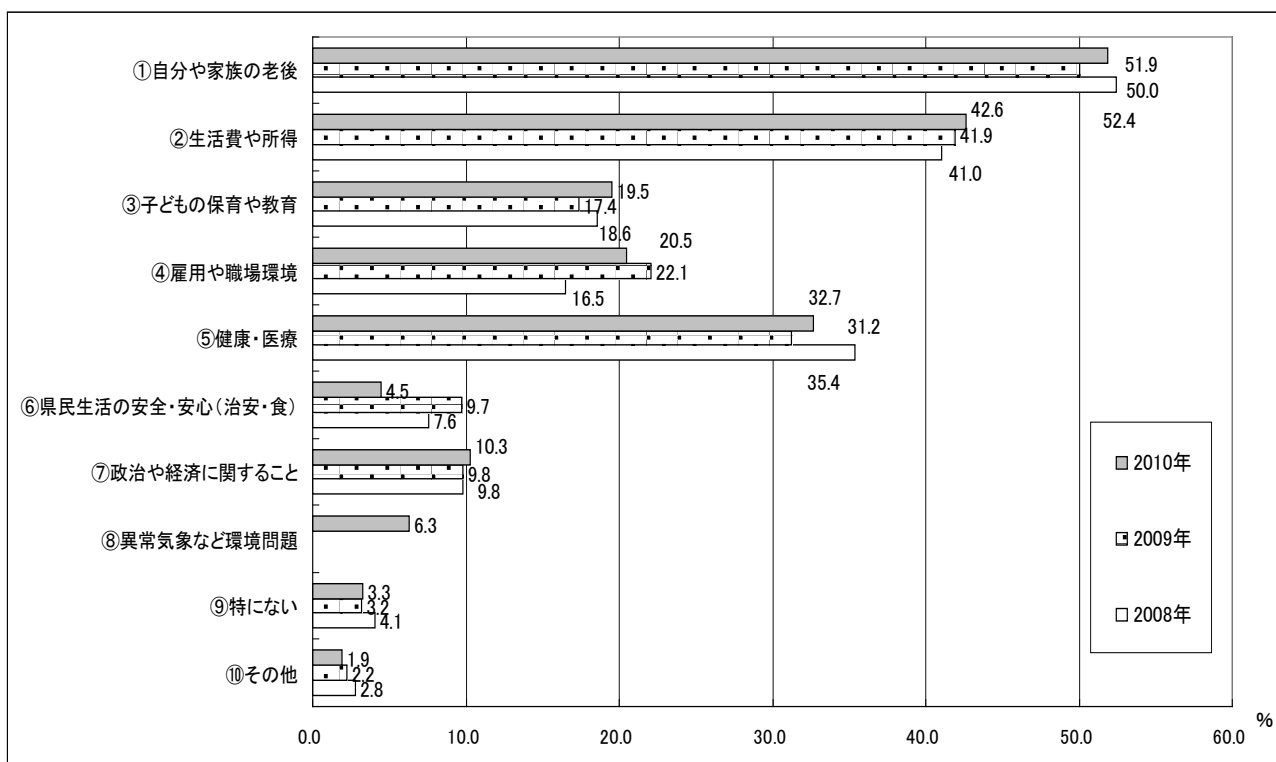


※ 2010年の調査から、過去の統計で、意識の低かった設問である「土地や住宅」を削除し、「異常気象など環境問題」の設問を入れた。

■過去3年間の比較

「①自分や家族の老後」(51.9%)が03年から8年連続してトップとなった。

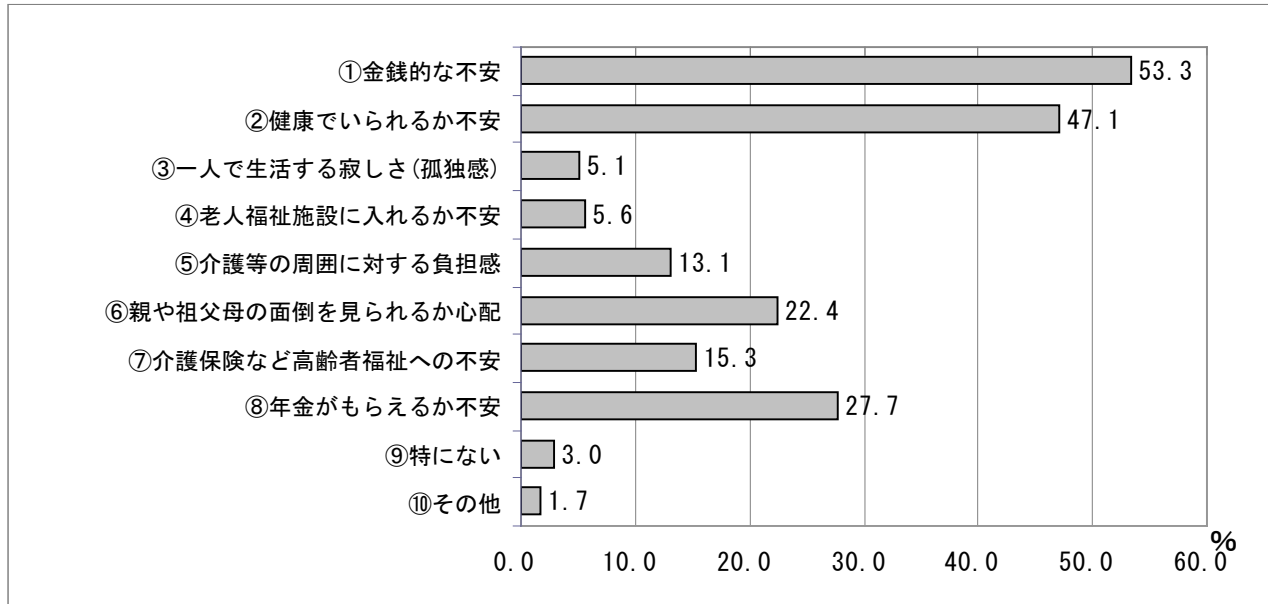
「⑥県民生活の安全・安心(治安・食)」(4.5%)が5.2ポイント低下した。また、昨年は、「雇用や職場環境」が、08年から5.6ポイント上昇したが、本年は、(20.5%)と改善はしたが一昨年までには、戻らない。また、「生活費や所得」の不安は、徐々にではあるが増加が続く。



2. 自分や家族の老後に関する不安、心配事についてお答え下さい。【2つ選択】

■全体傾向

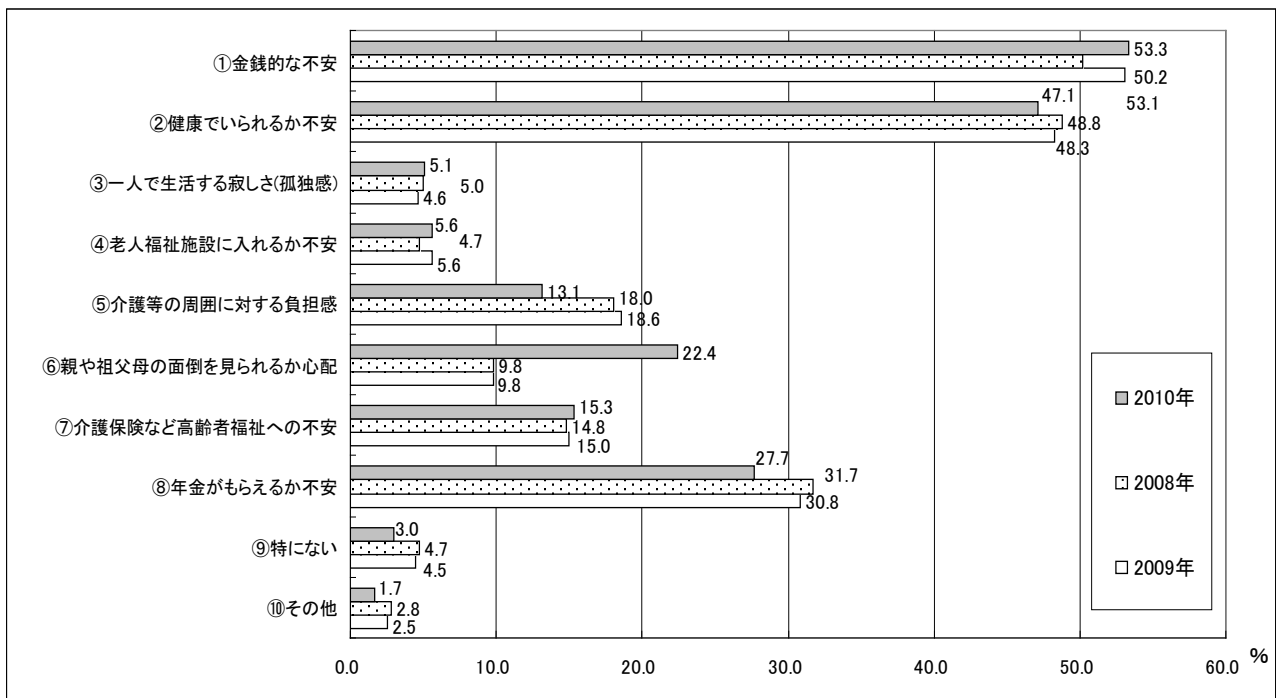
「①金銭的な不安」(53.3%)、「②いつまでも健康でいられるか不安」(47.1%)の2項目が5割以上の高い値を示す。続いて「⑧年金がもらえるか不安」(27.7%)が続き、「⑥親や祖父母の面倒を見られるか心配」(22.4%)が2割台で続く。



■過去3年間の比較

「①金銭的な不安」(53.3%)と「②健康でいられるか不安」(47.1%)が1位・2位で06年から5年連続して同じ順位となった。

「⑤介護等の周囲に対する負担感」(13.1%)が昨年比4.9ポイント低下した。また、「⑥親や祖父母の面倒を見られるか心配」(22.4%)が、昨年比から12.6ポイントと高い上昇となった。「年金がもらえるか不安」(27.7%)の値が低下しており、民主党政権になったことが数値を下げた一つの要因と考えられる。



雇用・労働について

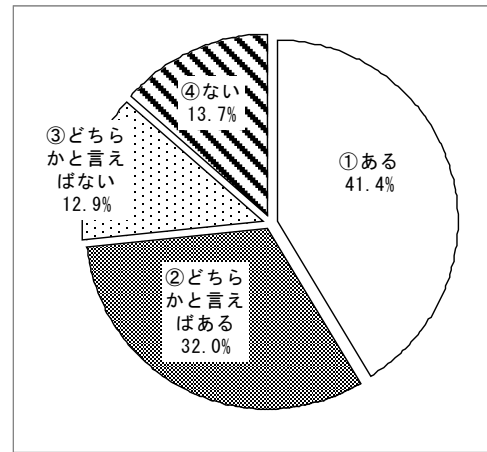
無職・休職中の方は思ったことを回答。

3. 雇用・労働に対する不安はありますか。

【1つ選択】

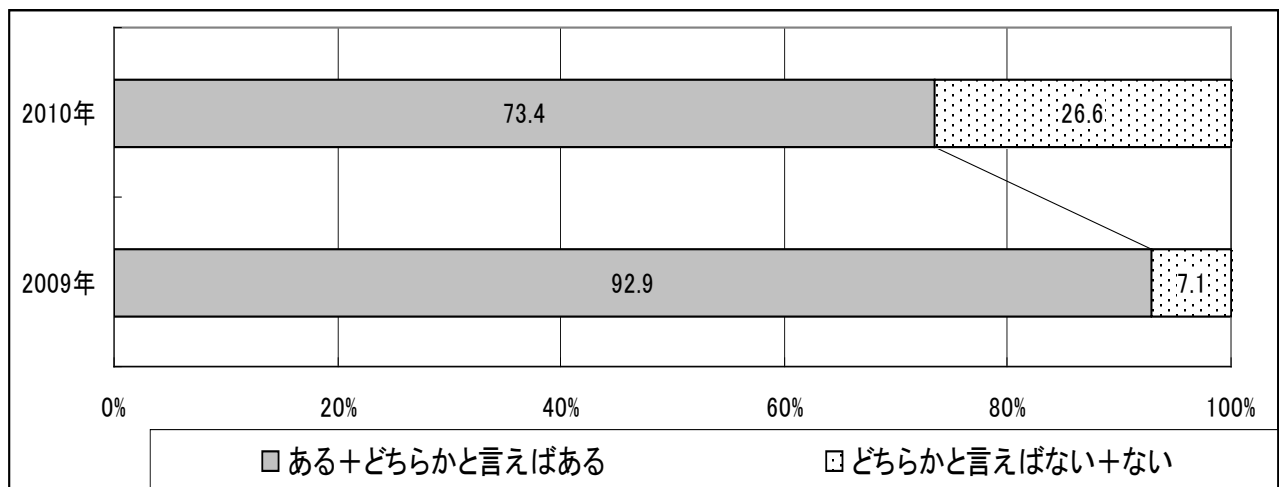
■全体傾向

全体傾向では「①ある」(41.4%)と「どちらかと言えばある」(32.0%)を足すと7割を超えており高い値を示す。



■2009年との比較

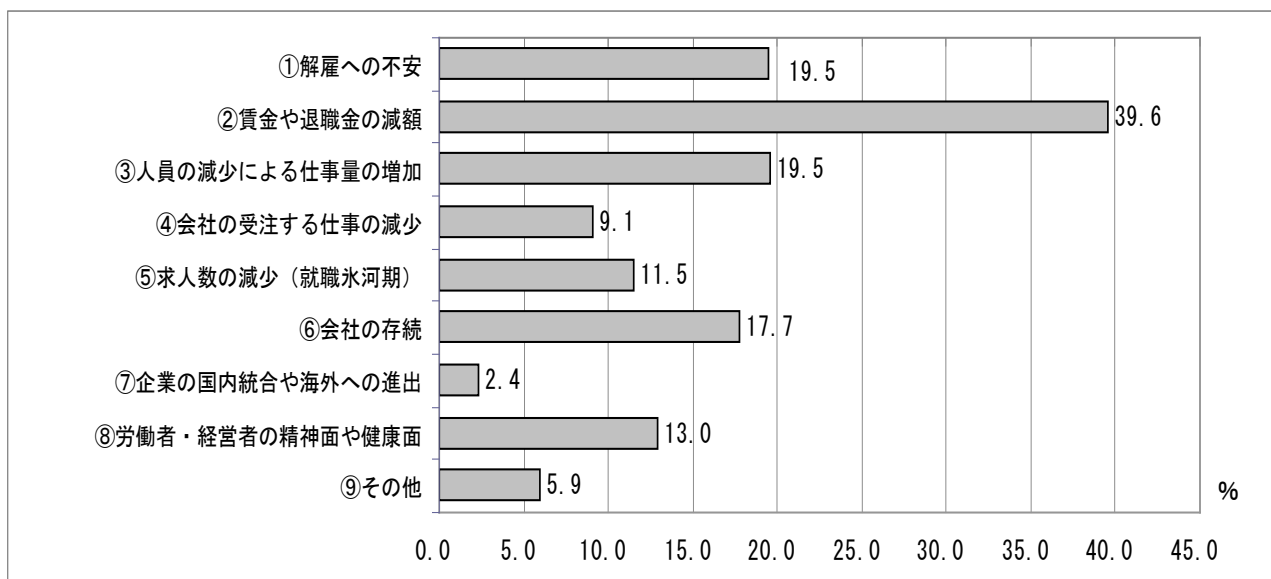
「ある+どちらかと言えばある」の値は、2009年から18.2ポイントと大きく低下したが、7割の方が現在も不安に感じている。



4. 雇用・労働に関する不安はどんな事ですか。感じることをお答えください。【2つ選択】

■全体傾向

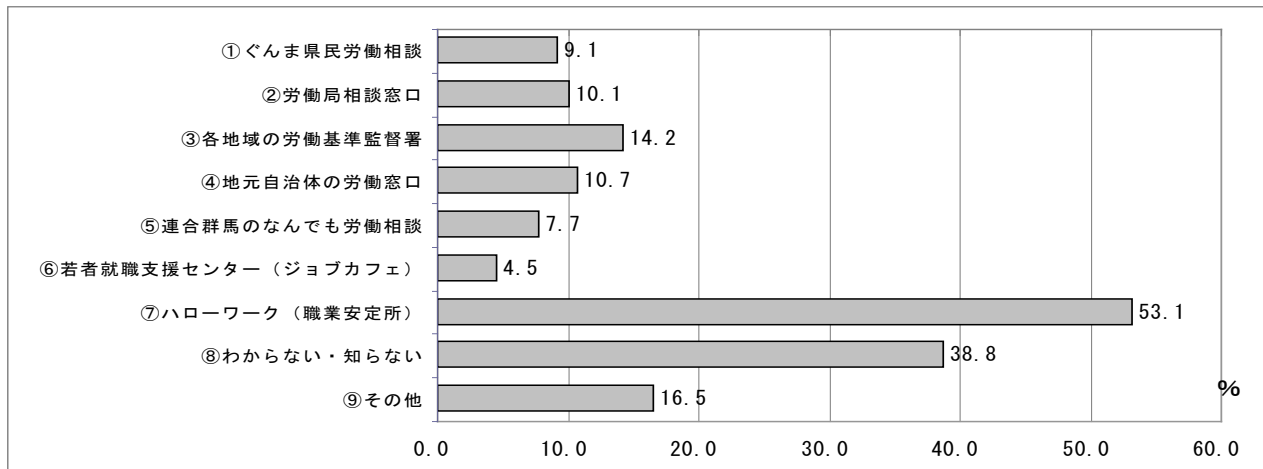
「②賃金や退職金の減額」(39.6%)が最も高く、「①解雇への不安」(19.5%)、「③人員の減少による仕事量の増加」(19.5%)が同じ値で続き、「⑥会社の存続」(17.7%)となっている。



5. 雇用・労働問題や働くことで困ったとき、家族や友人以外で何処に相談しますか、又は知っていますか。【2つ選択】

■全体傾向

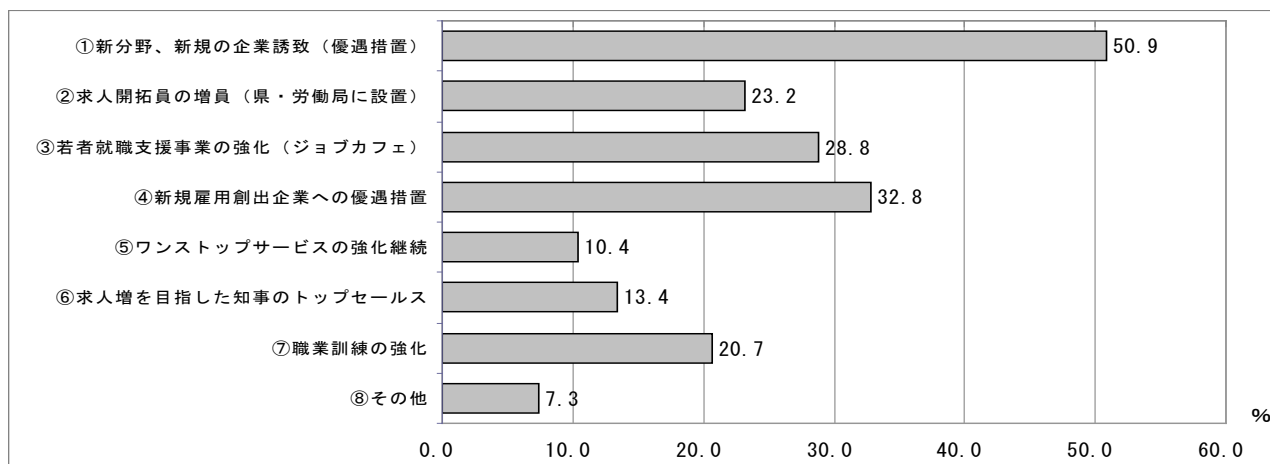
「⑦ハローワーク（職業安定所）」（53.1%）が高く、「⑧わからない・知らない」（38.8%）が続く。



6. 就職や新卒採用が厳しい中、群馬県がおこなうべき施策は何ですか。【2つ選択】

■全体傾向

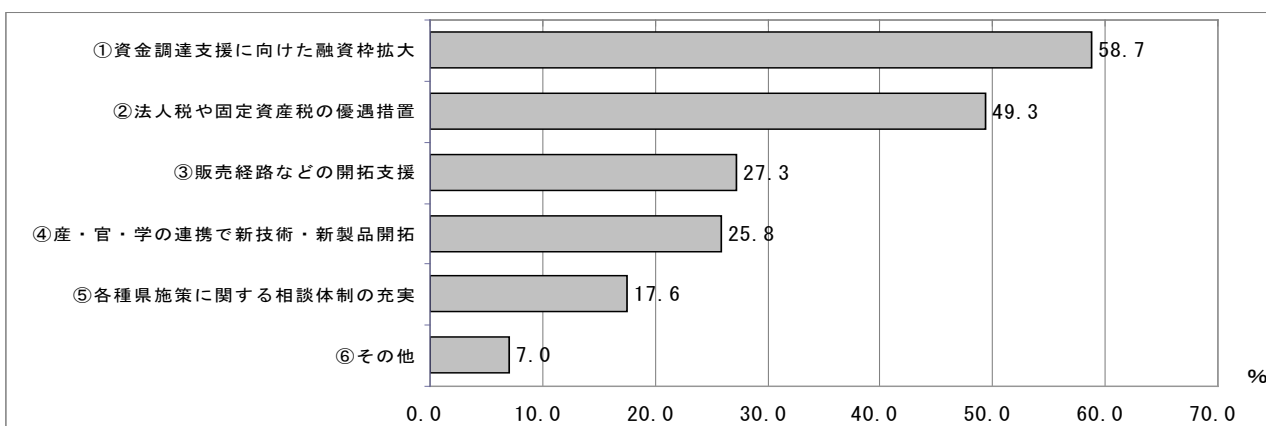
「①新分野、新規の企業誘致（優遇措置）」（50.9%）が高く、「④新規雇用創出企業への優遇措置」（32.8%）と続き、「③若者就職支援事業強化（ジョブカフェ）」（28.8%）、「②求人開拓員の増員（県・労働局に設置）」（23.2%）と2割台が続く。



7. 群馬県内の中小企業支援に向けて行政の施策で何が重要と考えますか。【1つ選択】

■全体傾向

「①資金調達支援に向けた融資枠拡大」（58.7%）、「②法人税や固定資産税の優遇措置」（49.3%）の2項目が高くなっている。

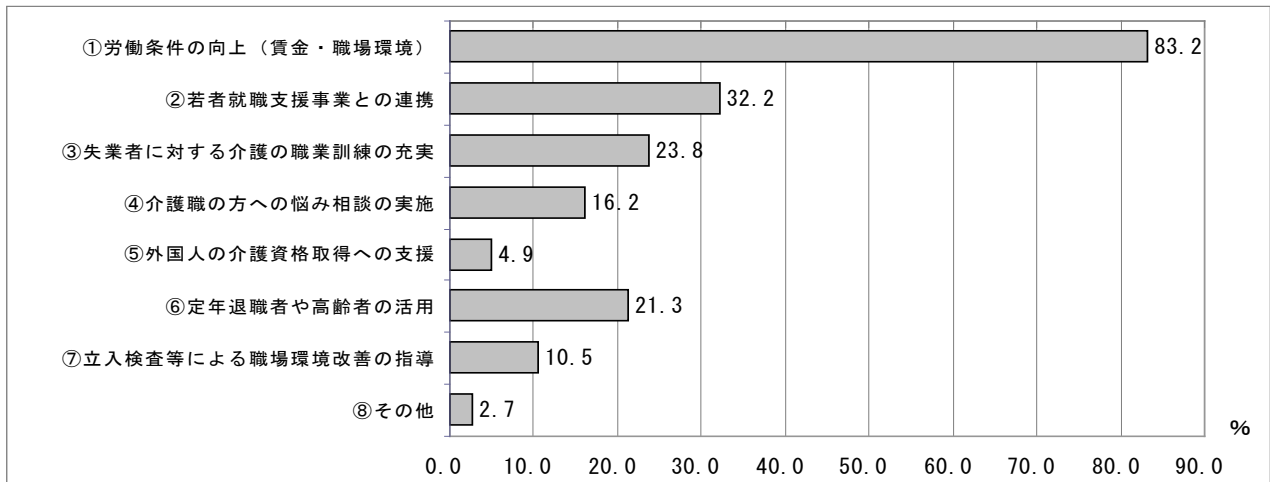


福祉・社会保障

8. 介護や福祉の現場では人材確保が重要な課題です。何が必要ですか。【2つ選択】

■全体傾向

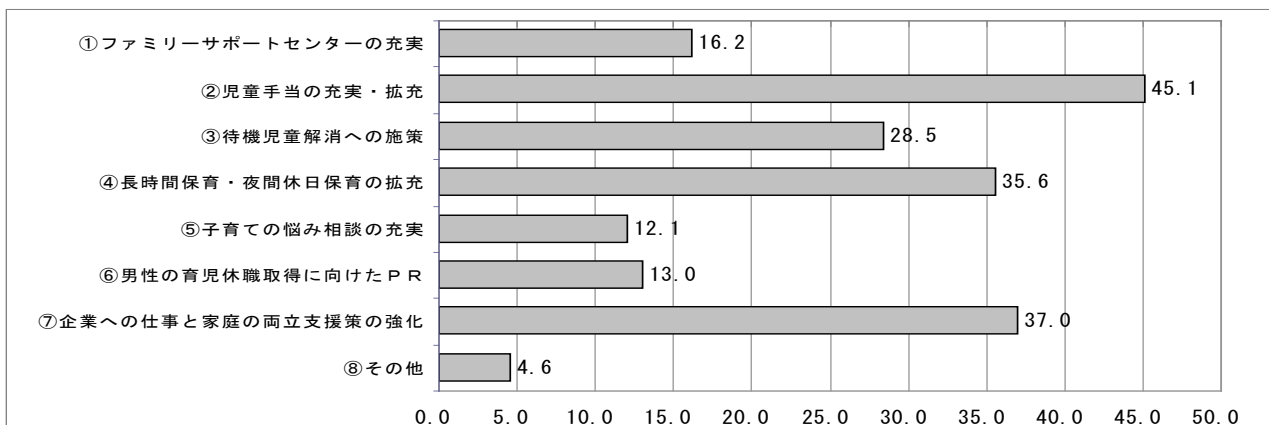
「①労働条件の向上（賃金・職場環境）」（83.2%）が最も高い値を示している。



9. 子育てする上で行政に強化して欲しい施策は何ですか。【2つ選択】

■全体傾向

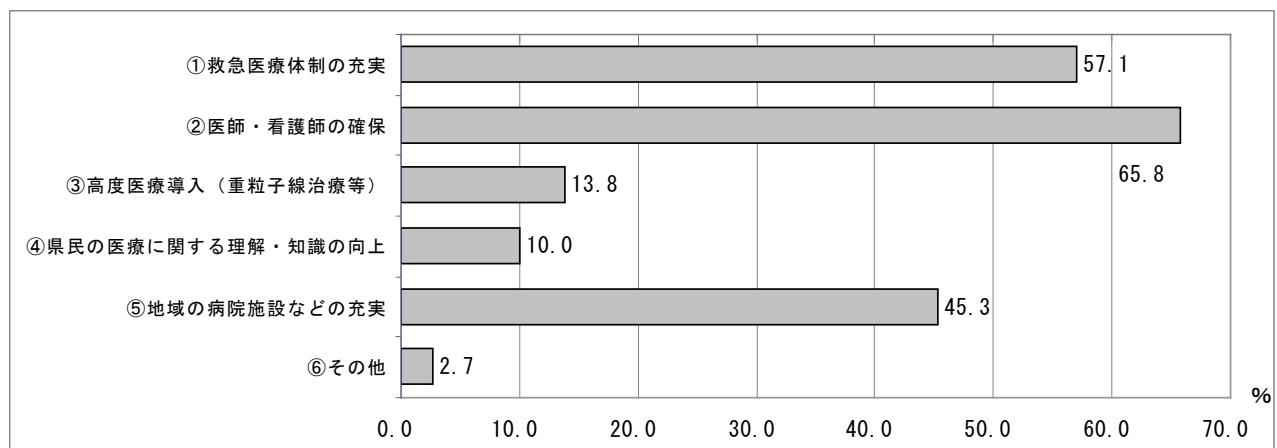
「②児童手当の充実・拡充」（45.1%）が高い値を示し、「⑦企業へ仕事と家庭の両立支援策の強化」（37.0%）、「④長時間保育・夜間休日保育の拡充」（35.6%）となり、その他設問が2割から1割で続く。



10. 医療に関して行政が取り組むべき施策は何が必要ですか。【2つ選択】

■全体傾向

「②医師・看護師の確保」（65.8%）の値が最も高く、「②救急医療体制の充実」（57.1%）と「⑤地域の病院施設などの充実」（45.3%）が高い値で続く。

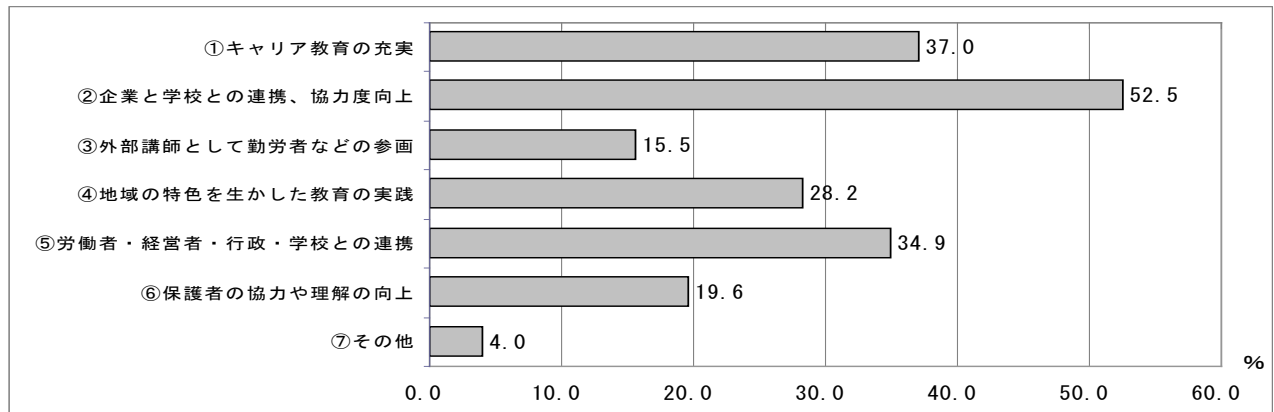


教育

1 1. 子どもたちが「働く」ことに関する教育について何が必要ですか。【2つ選択】

■全体傾向

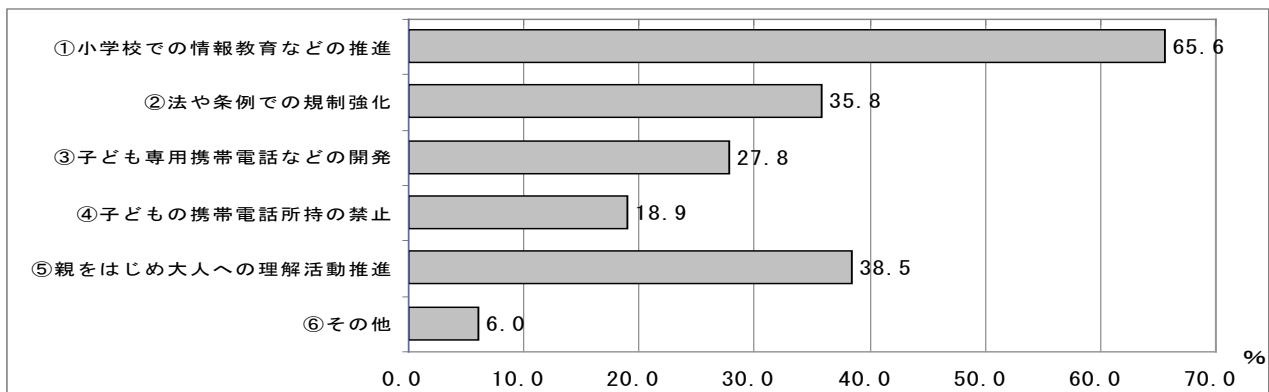
「②企業と学校との連携、協力度向上」(52.5%) が最も高い値を示し、「①キャリア教育の充実」(37.0%)、「⑤労働者・経営者・行政・学校との連携」(34.9%)、が比較的高い値で続き、「④地域の特色を生かした教育の実践」(28.2%)となる。



1 2. 子ども達は親の知らない所で簡単にたくさんの情報に触れています。情報社会の中で、子ども達が情報を正しく活用するにはどのような施策が必要ですか。【2つ選択】

■全体傾向

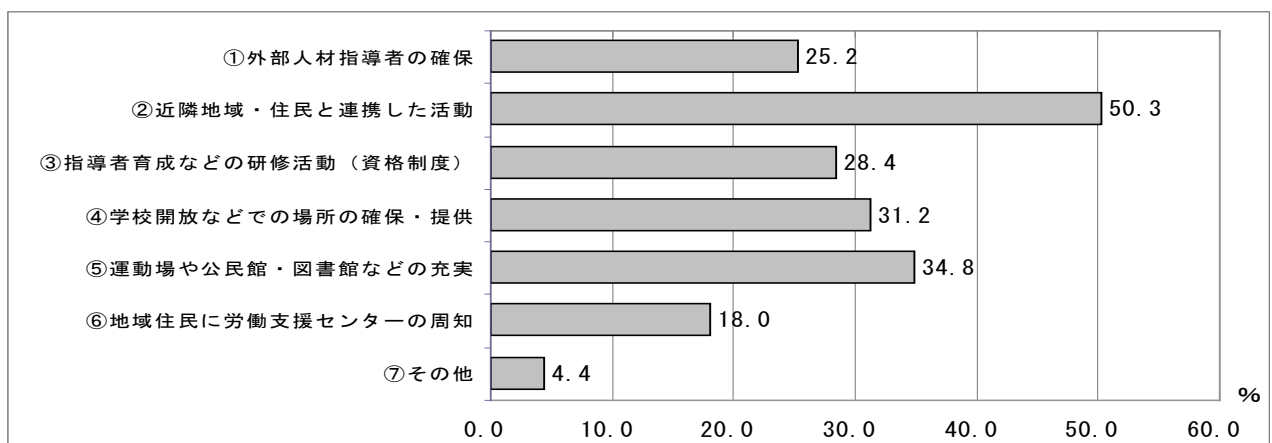
「①小学校での情報教育などの推進」(65.6%) が最も高い値を示し、「⑤親をはじめ大人への理解活動推進」(38.5%) と「②法や条例での規制強化」(35.8%) が比較的高い値で続く。「③子ども専用携帯電話などの開発」(27.8%) が続く。



1 3. 生涯学習を進める上では、地域との連携が必要となることもあります。進める上で何が必要と感じますか。【2つ選択】

■全体傾向

「②近隣地域・住民と連携した活動」(50.3%) が最も高い値を示し、「⑤運動場や公民館・図書館などの充実」(34.8%) と「④学校開放などでの場所の確保・提供」(31.2%) が3割台で続く。

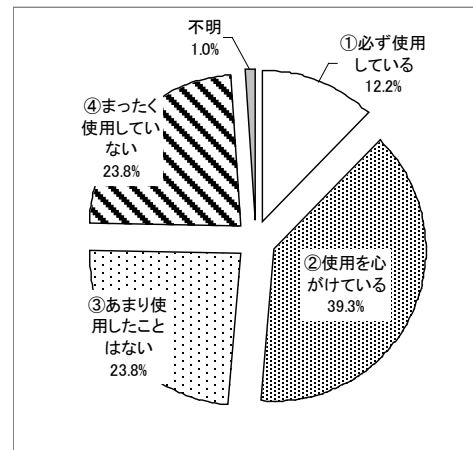


環境

14. 環境問題は喫緊の課題です。 あなたはエコバッグ・カゴを使用 していますか。【1つ選択】

■全体傾向

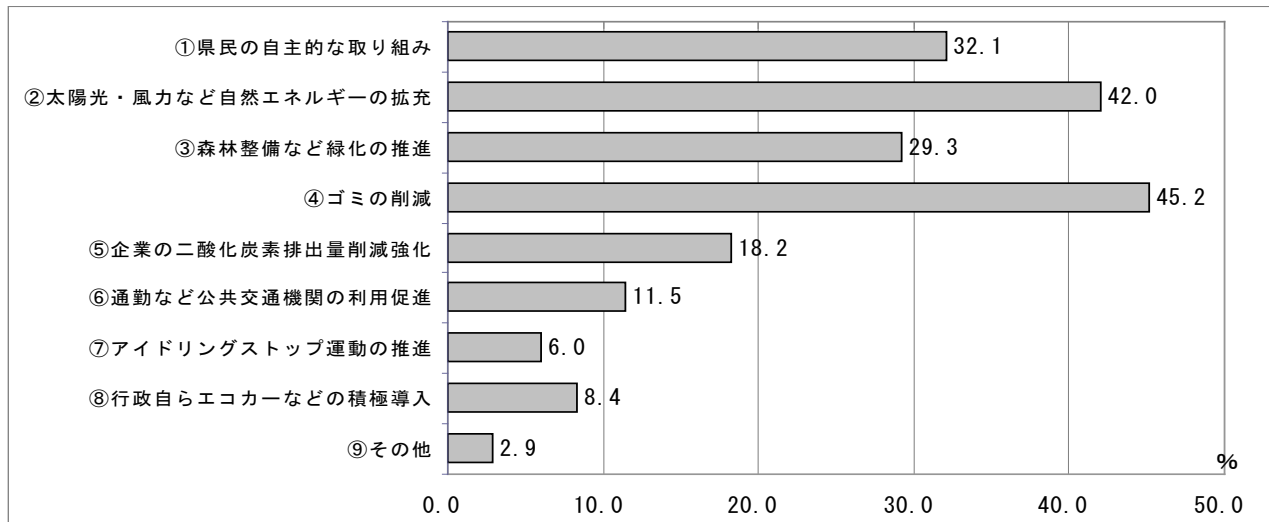
「②使用を心がけている」(39.3%)の値が最も高く、「③あまり使用したことはない」(23.8%)と「④まったく使用していない」(23.8%)が同じ値だが少し③が高い。



15. 地球温暖化防止策で重要なことは何ですか。【2つ選択】

■全体傾向

「④ゴミの削減」(45.2%)の値が高く「②太陽光・風力など自然エネルギーの拡充」(42.0%)が続く。「①県民の自主的な取り組み」(32.1%)と「③森林整備など緑化の推進」(29.3%)が3割前後で続く。

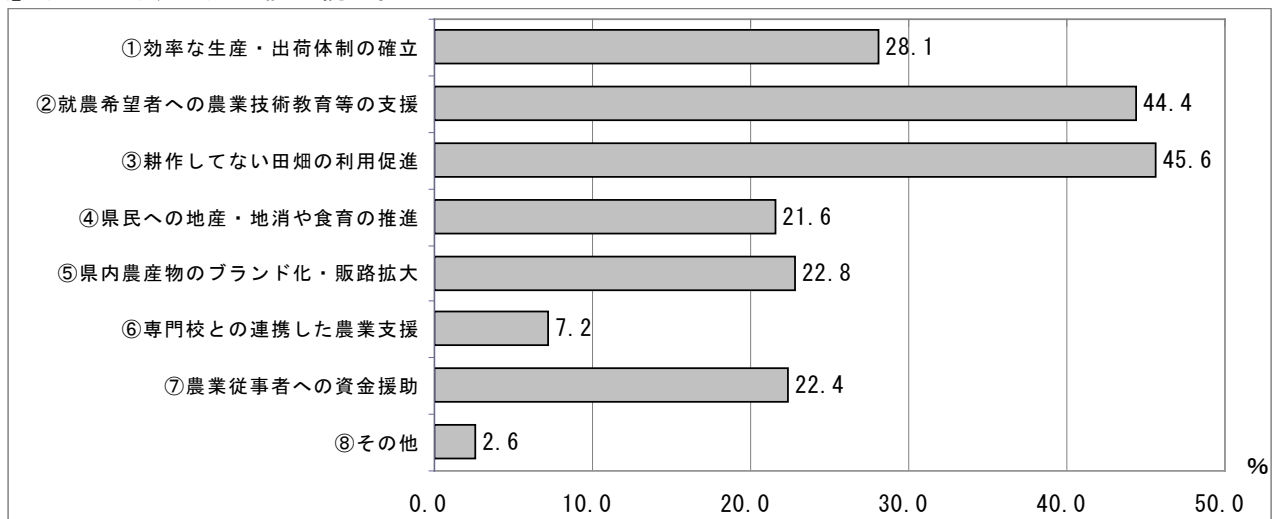


農業

16. 農業振興のためにどんな施策が必要と感じますか。【2つ選択】

■全体傾向

「③耕作してない田畑の利用促進」(45.6%)の値が最も高く、「②就農希望者への農業技術教育等の支援」(44.4%)、が近い値で続く。

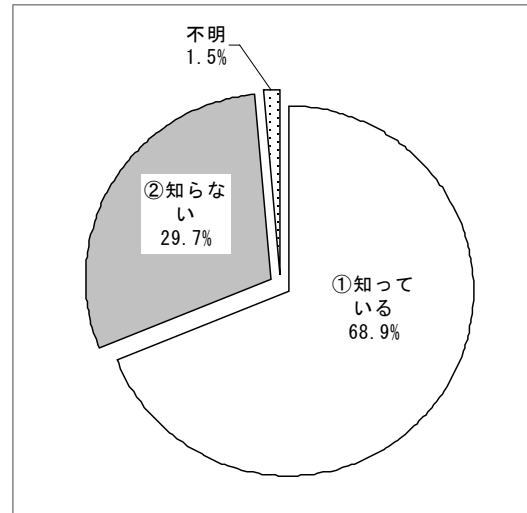


防災

17. あなたが住んでいる地域の災害時の避難場所を知っていますか。【1つ選択】

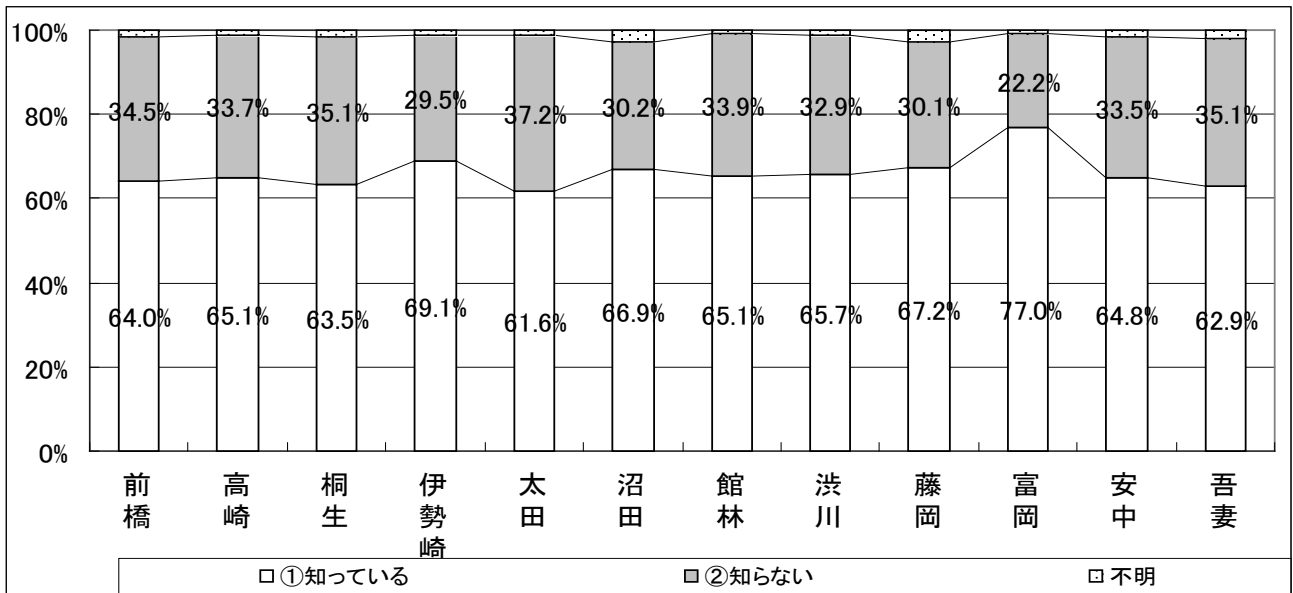
■全体傾向

「①知っている」(68.9%)の値が高くなった。



■地域ごとの認知度

避難場所は7割近くの方が「知っている」と答えており、富岡の値が最も高く、伊勢崎が続く。「知らない」と答えた方の割合は、太田の値が一番高く、桐生、吾妻が続く。

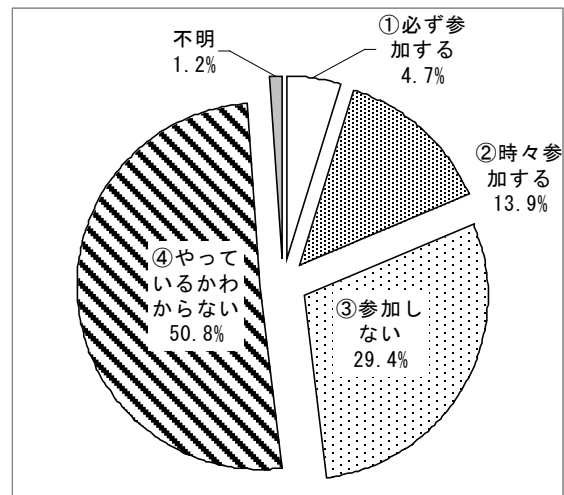


18. あなたは地域でおこなう防災訓練に参加していますか。

【1つ選択】

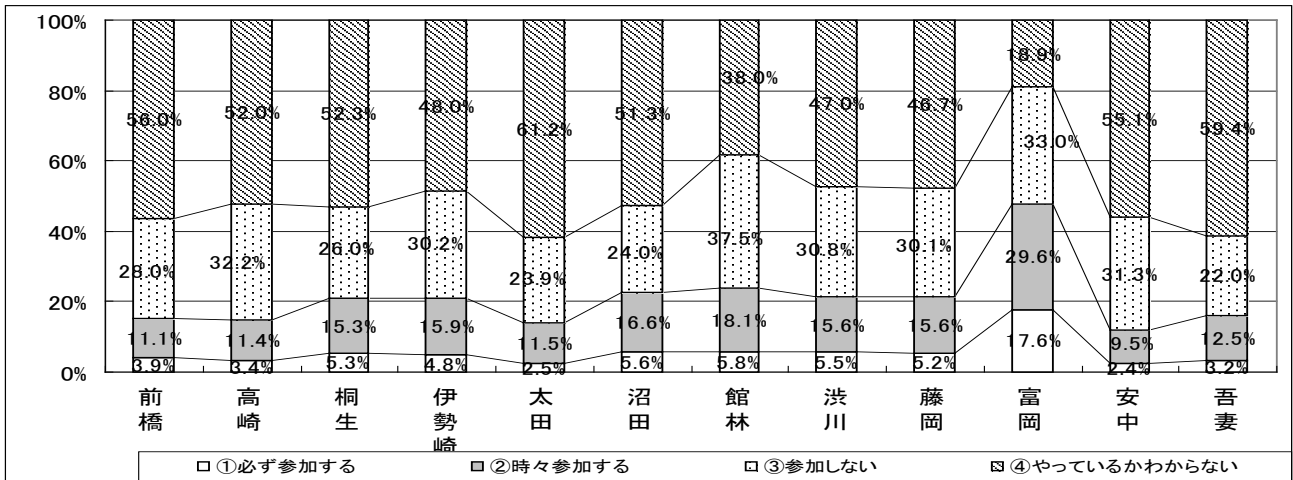
■全体傾向

「④やっているかわからない」(50.8%)の値が最も高く、「③参加しない」(29.4%)と続く。



■地域ごとの理解度

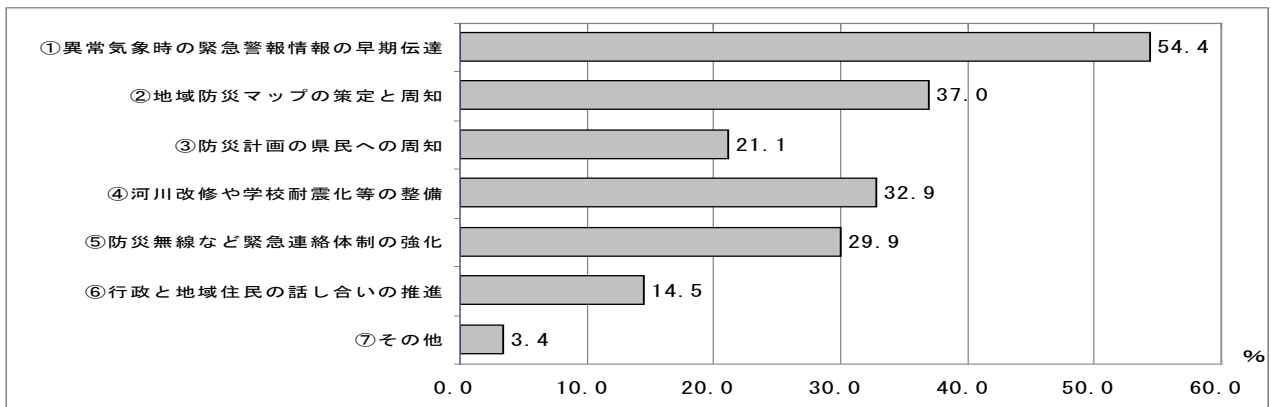
防災訓練の参加について、全体で5割の方が「やっているかわからない」(50.8%)と答えており、地域では太田が高い値を示している。「必ず参加する」と答えた方は、富岡の値が一番高くなっている。



19. 災害に備えた行政施策は何が必要と感じますか。【2つ選択】

■全体傾向

「①異常気象時の緊急警報情報の早期伝達」(54.4%)が最も高い値を示し、これに「②地域防災マップの策定と周知」(37.0%)と「④河川改修や学校耐震化等の整備」(32.9%)と「⑤防災無線など緊急連絡体制の強化」(29.9%)が3割前後で続く。

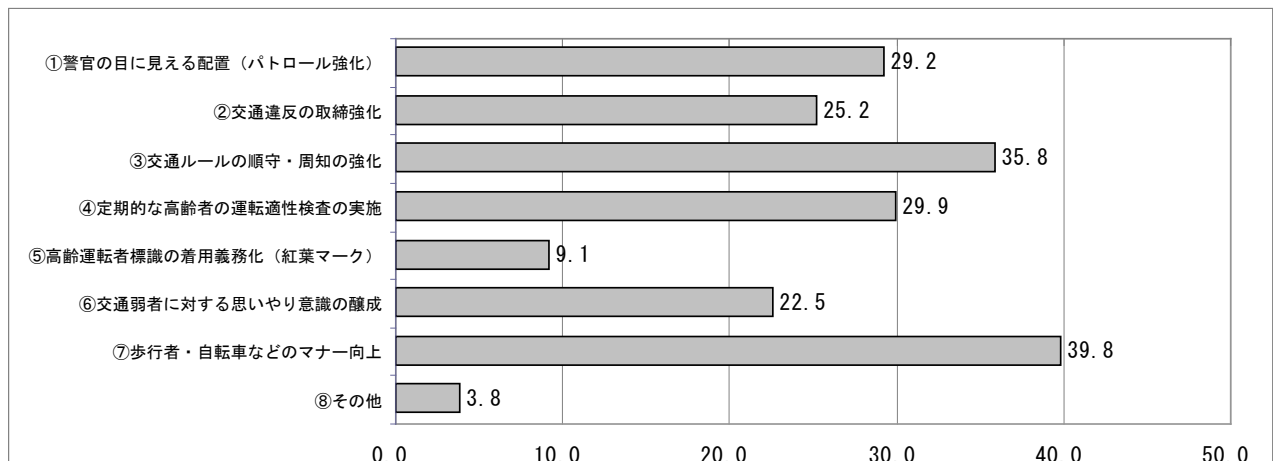


防犯

20. 交通事故が増加しています。どのような施策が必要と考えますか。【2つ選択】

■全体傾向

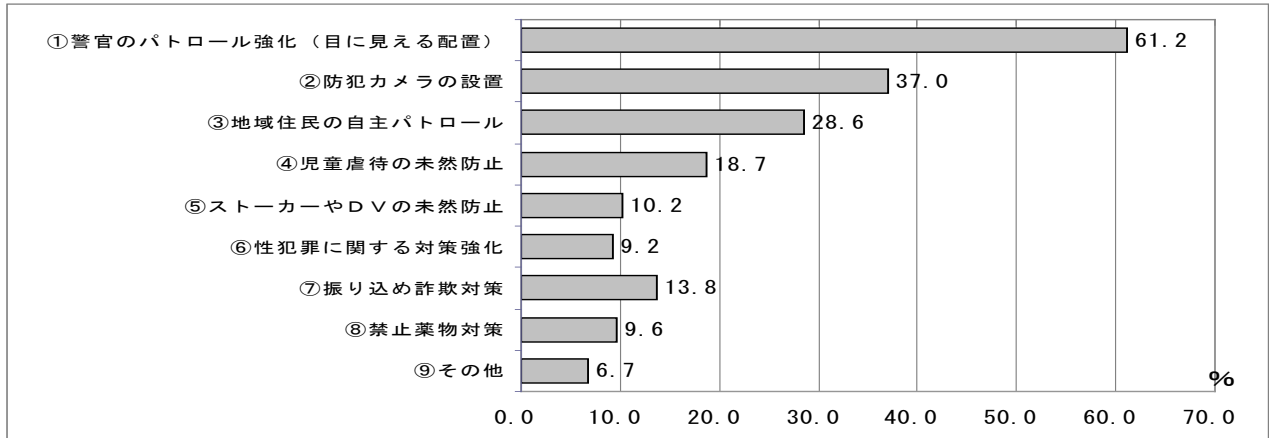
「⑦歩行者・自転車などのマナー向上」(39.8%)と「交通ルールの遵守・周知の強化」(35.8%)が3割を超えており、続いて「④定期的な高齢者の運転適正検査の実施」(29.9%)や「警官の目に見える配置(パトロール強化)」(29.2%)が続く。



2 1. 防犯に関して取り組むべき施策は何ですか。【2つ選択】

■全体傾向

「①警官のパトロール強化（目に見える配置）」(61.2%)の値が最も高く、「②防犯カメラの設置」(37.0%)、と「③地域住民の自主パトロール」(28.6%)が3割前後で続く。

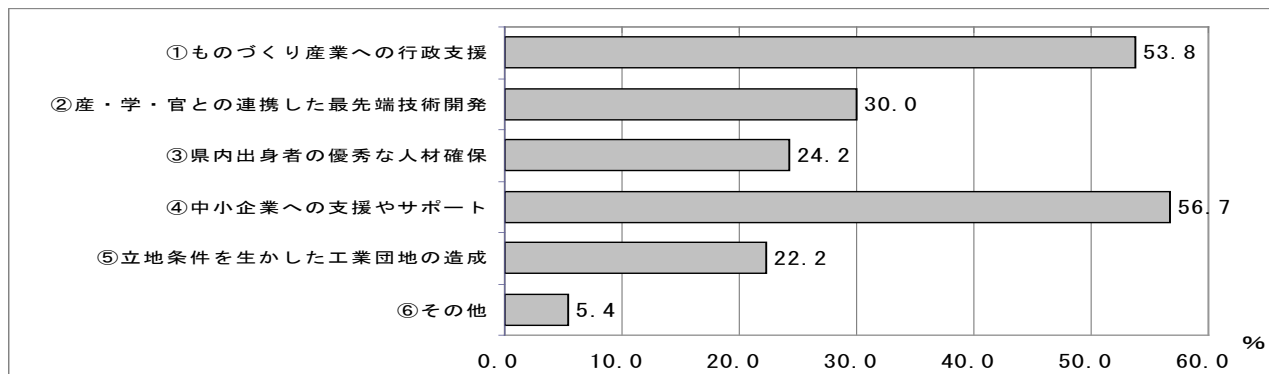


行政

2 2. 群馬の経済・産業の振興について何が必要と考えますか。【2つ選択】

■全体傾向

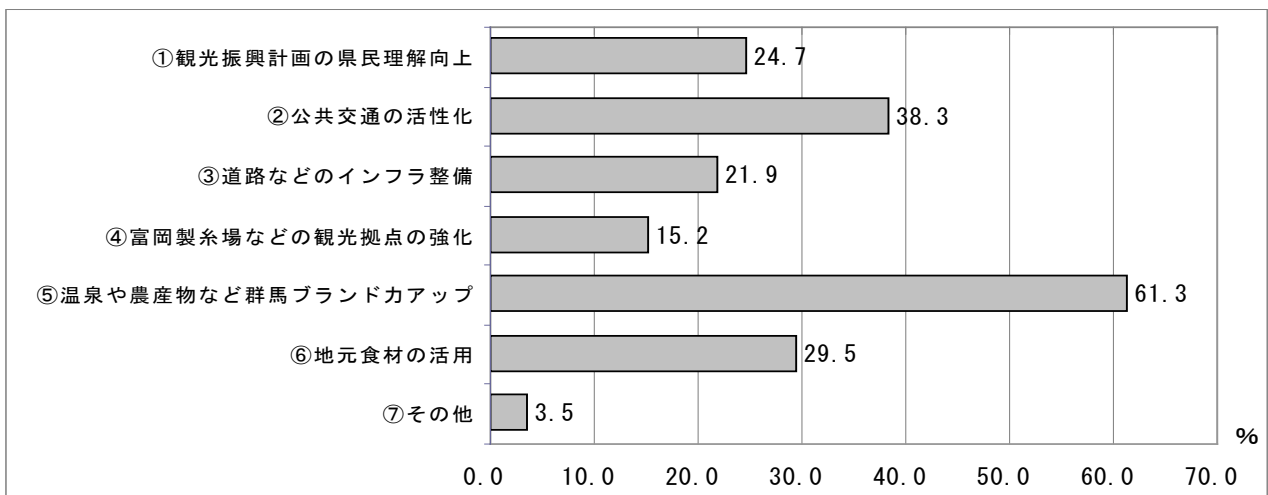
「④中小企業への支援やサポート」(56.7%)と「①ものづくり産業への行政支援」(53.8%)が5割台で最も高く、「②産・学・官との連携した最先端技術開発」(30.0%)が続く。



2 3. 群馬の観光振興について何が必要と考えますか。【2つ選択】

■全体傾向

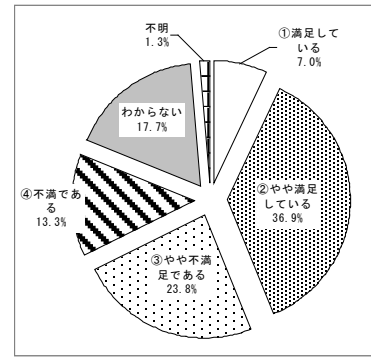
「⑤温泉や農産物など群馬ブランドカアップ」(61.3%)の値が最も高く、「②公共交通の活性化」(38.3%)が続き、2割台で「⑥地元食材の活用」(29.5%)と「①観光振興計画の県民理解向上」(24.7%)となる。



24. あなたの住んでいる市町村の行政運営に満足していますか。【1つ選択】

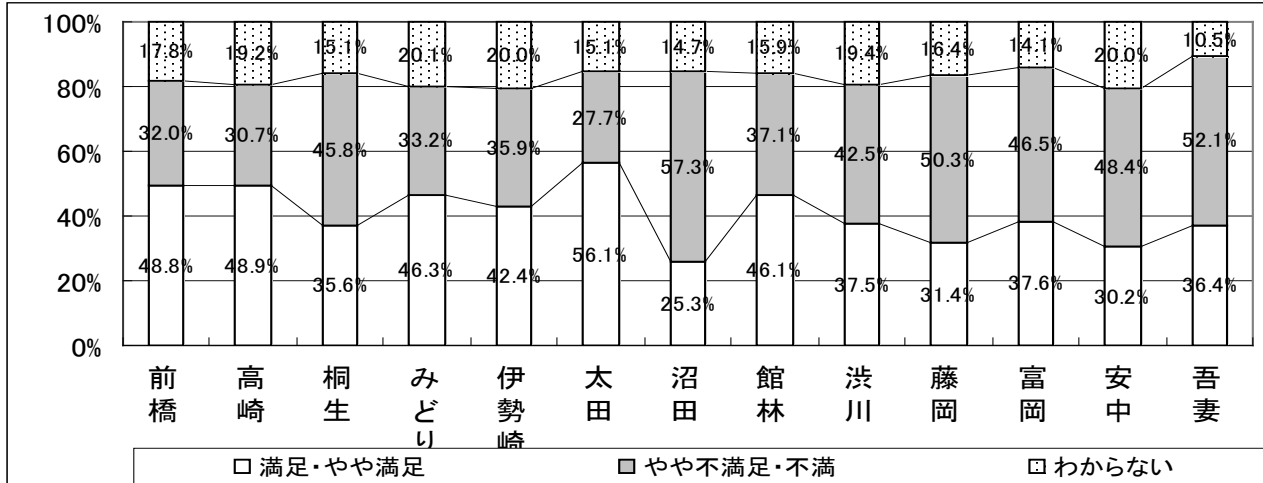
■全体傾向

「②やや満足している」(36.9%)の値が最も高く、「③やや不満足である」(23.8%)が続く。



■地域ごとの満足度

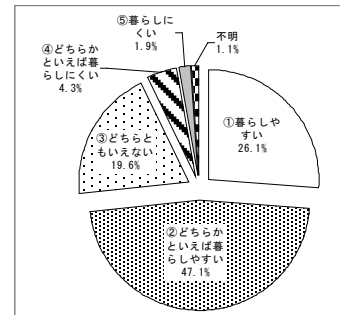
「満足・やや満足」の値は、太田(56.1%)が最も高く、高崎(48.9%)、前橋(48.8%)が続く。「やや不満足・不満」の値は、沼田(57.3%)の値が最も高く、吾妻(52.1%)、藤岡(50.3%)、安中(48.4%)、富岡(46.5%)と続く。



25. あなたにとって群馬県は暮らしやすいですか。【1つ選択】

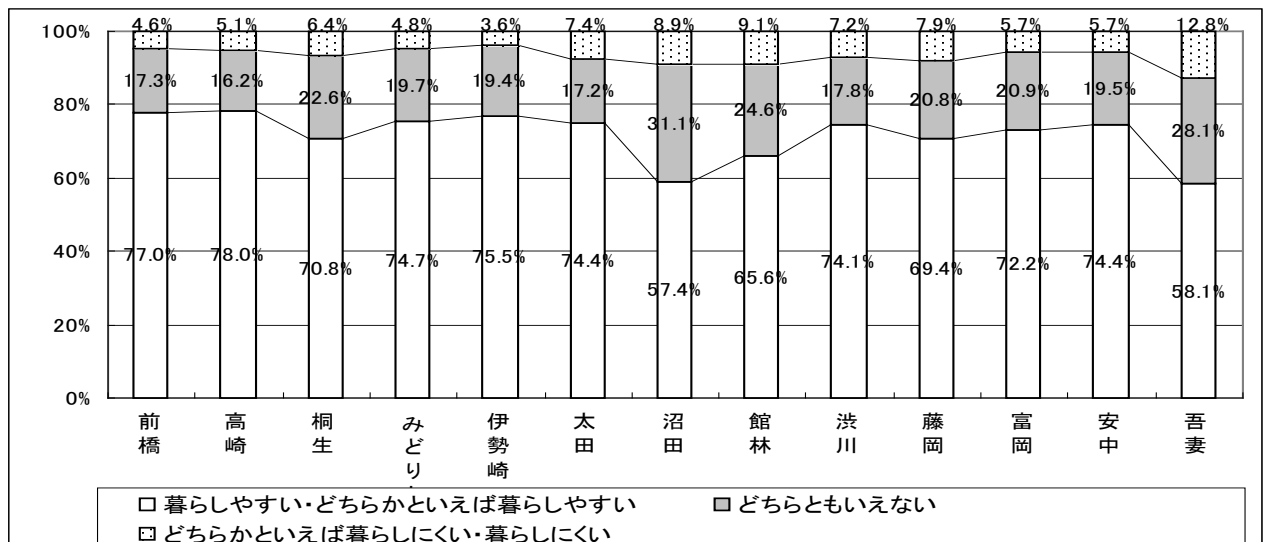
■全体傾向

「①どちらかと言えば暮らしやすい」(47.1%)の値が最も高く、「①暮らしやすい」(26.1%)が続く。「⑤暮らしにくい」(1.9%)と答えた方は少ない結果となった。



■地域ごとの満足度

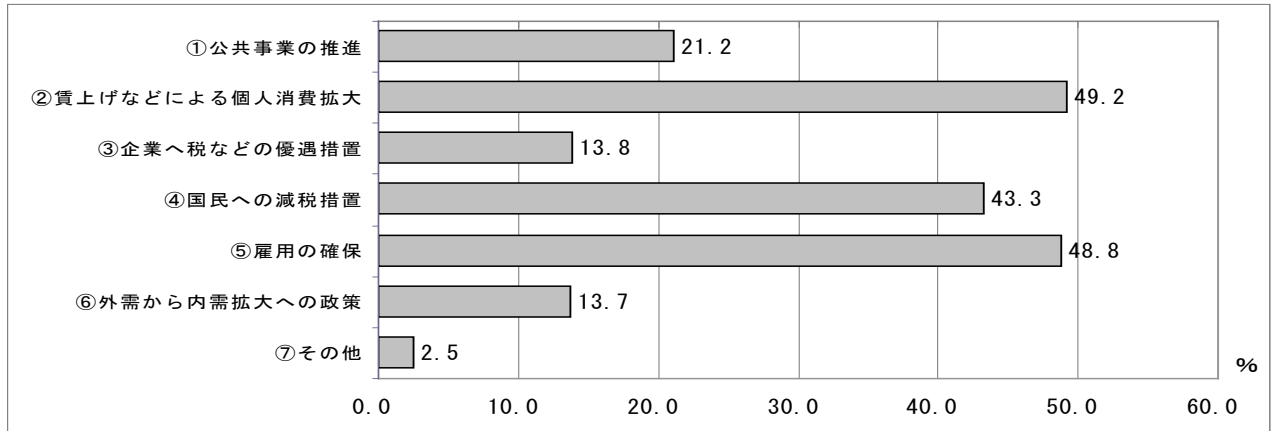
「暮らしやすい・どちらかと言えば暮らしやすい」の値は、高崎(78.0%)が最も高く、前橋(77.0%)、伊勢崎(75.5%)が続く。「どちらかとも言えず暮らしにくい・暮らしにくい」の合計値は、吾妻(12.8%)の値が最も高く、館林(9.1%)、沼田(8.9%)と続く。



26. あなたは当面の景気対策のために何が必要と考えますか。【2つ選択】

■全体傾向

「②賃上げなどによる個人消費拡大」(49.2%)の値が最も高く、「⑤雇用の確保」(48.8%)、「④国民への減税措置」(43.3%)が40%台で続き、「①公共事業の推進」(21.2%)は、2割台となる。



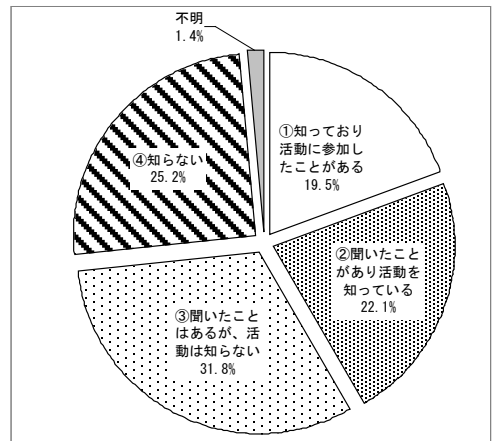
連合群馬認知度

27. 昨年12月、連合群馬は20周年を迎えました。

あなたは連合群馬を知っていますか。【1つ選択】

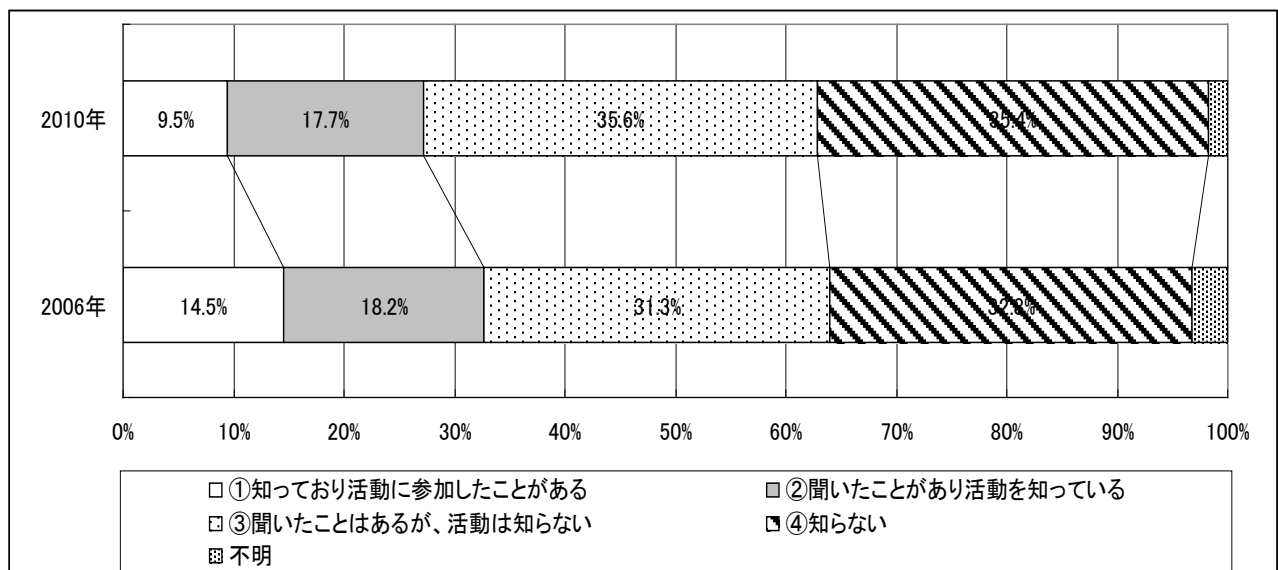
■全体傾向

「③聞いたことはあるが活動は知らない」(31.8%)の値が最も高く、「④知らない」(25.2%)、「②聞いたことがあり活動を知っている」(22.1%)と続く。



■連合群馬の認知度 2006年調査と比較【労働組合なしを抜粋】

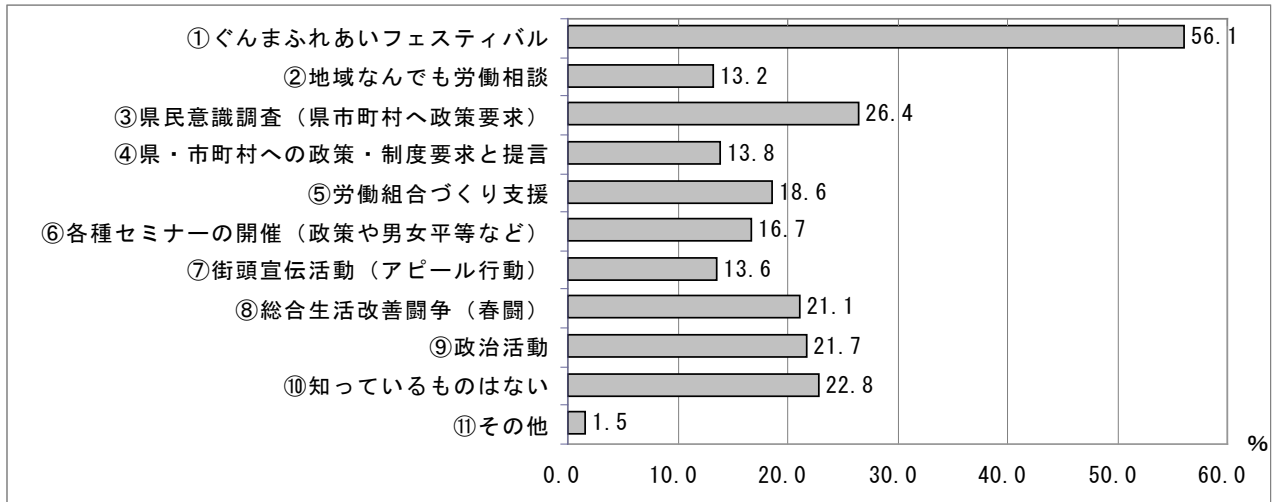
2006年との比較では「知っており活動に参加したことがある」も5%下がり、聞いたことがあり活動を知っているも若干下がった。認知度は下がっている。



28. 連合群馬の活動で知っているものは何ですか。【すべて選択】

■全体傾向

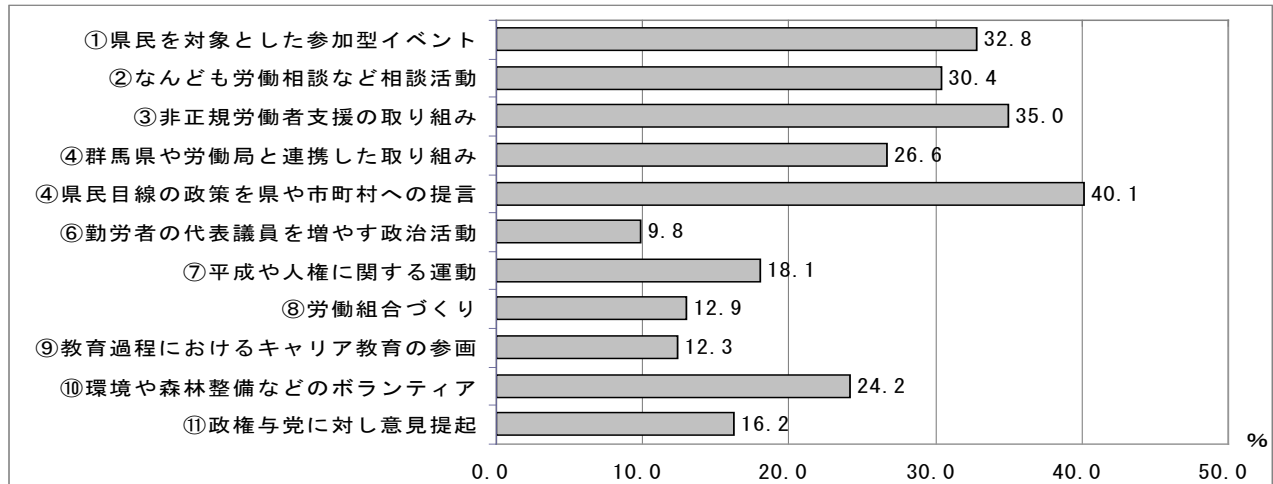
「①ぐんまふれあいフェスティバル」(56.1%)の値が最も高く、20%台で、「③県民意識調査」(26.4%)が続く。「⑨政治活動」(21.7%)、「⑧総合生活改善闘争(春闘)」(21.1%)が続く。また、「⑩知っているものはない」(22.8%)が高い値を示す。



29. 連合群馬の活動に期待することや活動を強化・充実して欲しいもの【3つ選択】

■全体傾向

「県民目線の政策を県や市町村への提言」(40.1%)の値が最も高く、「③非正規労働者支援の取り組み」(35.0%)が続く。「①県民を対象にした参加型イベント」(32.8%)、「②なんでも労働相談など相談活動」(30.4%)が3割を超えている。



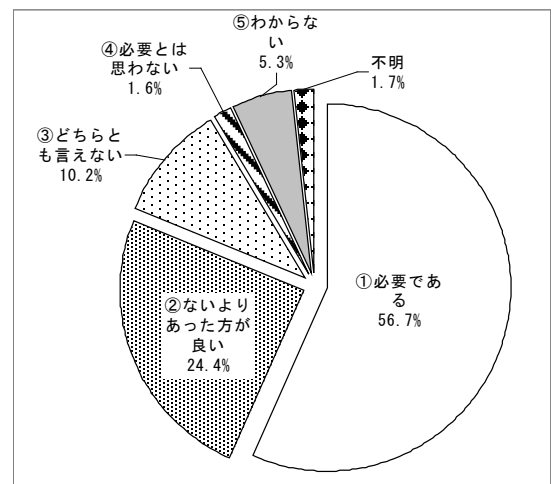
30. 労働組合は必要だと思いますか。

【1つ選択】

■全体傾向

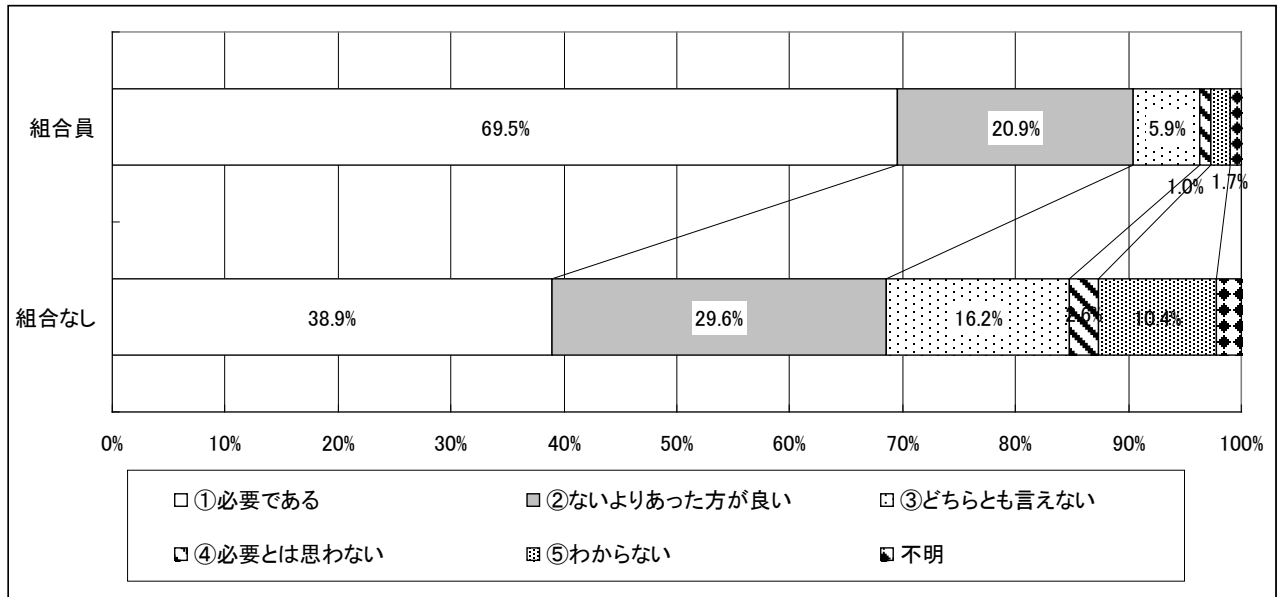
「①必要である」(56.7%)の値が最も高く、「②ないよりあった方が良い」(24.4%)が続く。

「①必要である」と「②ないよりあった方が良い」を足すと81.1%の方があった方が良いと答えている。



■組合員と組合なしの方の比較

組合員は「必要である」が高く、組合なしの方は4割が「必要」、3割は「ないよりあった方が良い」と答えており7割が必要と感じている。また、「わからない」と回答した数も多い。



以上